

勝山市小中学校の再編素案について考える会 (校區別座談会) 報告

市内12小中学校で開催



7月30日～8月30日にかけて、市内全ての小中学校において、「勝山市小中学校の再編素案について考える会(校區別座談会)」を開催しました。この会では、児童生徒の保護者および就学前児童の保護者を対象に、小中学校再編に関する市の基本的方針をお示しして、参加者から多くのご質問・ご意見をいただきました。今回、その要約と市の考え方を紹介します。

再編の時期について

中学校については、平成27年春の開校を目指しています。

小学校については、地域の特性もあり、さまざまな形態での進め方も考えられますので、現時点では目標年次を設定していません。今後いろいろな形で意見交換を深めていきたいと考えています。

再編方法と再編決定時期について

地区別、校區別座談会でいただいたご意見を集約・分析する中で、素案の再検討を行います。その結果を再度、市民の皆さまにお示しして、ご意見をお聞きます。中学校については、平成23年6月頃までには決定したいと考えています。

スクールバスの運行について

- 子どもや保護者の負担とならないようしてほしい
- 部活で遅くなった場合や土日、長期休暇時の部活動への対応は？

どの地区でも、児童・生徒の足の確保が心配という声が多く出ていますので、最重要課題として対応していきたいと考えています。

複数台のバスを出すことにより、最

初の児童生徒がバスに乗ってから、30分以内に学校に着くようにしたいと考えています。

部活動などで遅くなった場合や、休日の対応については、時間帯がある程度整理することにより、スクールバスに対応する予定です。

再編による施設面での配慮

- 今でも校門周辺は送迎の車で混雑していますが、通学距離が長くなった場合、更に混雑が予想されます。対応は？

道路の整備も視野に入れ、検討する必要があると考えます。

精神面での配慮について

- 中学校再編が平成27年とすると、現在の小学4年生が中学3年生で統合を迎えることになり、友だちとの人間関係や、高校受験など、精神面で心配です

学校再編は子どものためということが大前提であり、今よりもっと良い環境を整えていくことを基本としています。新しい中学校に入る生徒の心理的な面への配慮は重要であり、クラス編成についてももちろん、その他の課題についても教員や保護者と相談しながら

ら、きめ細かな対応をしていきたいと考えています。

中学校を1校とするのではなく、2校とする考えは難しいのですか

中学校を再編する場合、基本理念としている1学年4クラス以上(1クラス30人程度)のためには、2校でなく1校とする必要があります。いずれは1校とすることを想定すれば、現時点では段階的ではなく、3校から1校とするという考えですが、2校案についても十分検討していきます。

小学校を自由学区にするという考えはありますか

勝山市を一つの校区として、希望する学校に行けるよう、校区を撤廃することもひとつの考え方です。さまざまなご意見をお聞きし、検討していきます。

※その他、新体育館との関係、財政面について多数のご質問、ご意見をいただいています。校區別座談会の内容は、市のホームページをご覧ください

問 教育総務課 (28・811)

平成22年度

勝山市表彰式



地方自治功労

松山 保雄(72) 若猪野 長年により収入役、助役、副市長としてその要職を務め、市民福祉の増進と地方自治の振興発展に寄与された

産業功労

福田 稔(74) 平泉寺町赤尾 長年により東部土地改良区の副理事長を務め、また勝山市土地改良区、農事組合法人の設立等に尽力し、農業経営の発展と地域振興に寄与された

木下 孝雄(63) 村岡町浄土寺 長年により勝山商工会議所議員としてその要職を務め、商工業の発展と地域振興に寄与された

福祉・保健功労

島田 美枝子(68) 鹿谷町本郷 長年により主任児童委員(民生委員)として児童福祉に関する支援等に尽力し、地域福祉の向上に寄与された

消防・交通功労

小林 謙一(60) 北郷町檜曾谷 長年により消防団員として、献身的な活動により防火思想の普及、災害防止に努め、市民生活の安全に寄与された

結川 隆一(56) 北谷町北六呂師 長年により消防団員として、献身的な活動により防火思想の普及、災害防止に努め、市民生活の安全に寄与された

まちづくりに対する想いを手紙に込めて

「市長への手紙」

～9月は市民提案月間～

募集中

テーマ「第5次勝山市総合計画(2012)」

市では本年度中に、平成23年度～平成32年度までの10年間にわたる、まちづくりの指針となる「第5次勝山市総合計画」を策定します。

この計画では、環境、子育て、健康長寿、福祉、商工業、観光、農林業、雇用、雪対策、インフラ、交通、教育、文化、スポーツなど、さまざまな視点から「長期的な展望に立った持続可能なまち」をつくることを目指します。

そこで、市民の皆さまからご意見をお聞きし、実効性のある総合計画とするため、市長への手紙を募集します。いろいろなご意見、ご提案をお寄せください。



- 提出方法▼手紙、ハガキ、メールなど手紙を送る際のお願い▼
- 必ず住所、氏名、電話番号の記載をお願いします。匿名や無記名のかたにはお応えできません
 - 地域内のご要望や苦情などについては、各地区の区長を通して市へお申し出ください
- 手紙についてのお約束▼
- 記載していただいた個人情報については、内容確認などの目的以外には利用しません
 - お寄せいただいた手紙の要約を、広報かつやまおよび勝山市ホームページに掲載することがあります
- ※第5次勝山市総合計画については、市ホームページをご覧ください

問 011・8501

勝山市元町一丁目一番一号
秘書・広報課 広報広聴グループ (28・1114)
E-mail kouhou@city.katsuyama.lg.jp

勝山健康ウォーク ～秋の野向路を楽しもう～

10月10日(日) 小雨決行

8:00 受付開始
8:30 開会式
8:45 スタート

ゆめおーれ勝山
(スタート・ゴール)

かつやま恐竜の森

薬師の大イチョウ
(市指定文化財)

当日、
コスモスまつり
開催予定!!

龍谷公園
(市指定文化財)

比良野家
(市指定文化財)

ウォーキングコース
全長約15km

参加料 無料
持ち物 タオル・飲み物・お弁当 など
※小学生以下は保護者同伴でご参加ください

申・問 勝山市教育委員会 教育部 生涯学習・スポーツ課
(☎88-8114・FAX88-1120)

第6回 勝山恐竜クロカンマラソン

10月31日(日) かつやま 恐竜の森

申込締切 10月4日(月)

恐竜博物館開館10周年記念
「恐竜パフォーマンス賞」新設!

新 男子10km 60歳以上の部
高校女子5kmの部は、39歳以下
女子5kmの部に統合しました。

ゲストランナー
かつやまマラソン大使
君原健二氏

当日は園内の駐車場は利用できませんので、会場近くの雁が原スキー場駐車場をご利用ください。
※シャトルバスでの送迎あり

申・問 勝山恐竜クロカンマラソン実行委員会 〒911-8501 勝山市元町1丁目1番1号
☎88-8114 FAX 88-1120 URL <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/kurokan/home/top.htm>



恐竜渓谷ふくい 勝山ジオパーク
DINOSAUR VALLEY FUKUI
KATSUYAMA GEOPARK

ロゴマークデザイン



市長から紹介される横山さん
「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」ロゴマークをデザインした横山雄樹さん(25=千葉県在住=)が来勝されました。
8月14日に開催された「かつやま恐竜パレード」の開会式で山岸市長から紹介され、記念品が贈呈されました。

「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」の日本ジオパーク認定証授与式が行われました

8月22日、「日本ジオパーク系魚川大会」(新潟県糸魚川市市民会館)が開催され、同席上で、昨年10月に日本ジオパークに認定されている「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」の認定証授与式が行われました。

授与式では、他の3地域(隠岐、阿蘇、天草御所浦)の代表者とともに、日本ジオパーク委員会 尾池和夫委員長から山岸市長へ正式に認定証が授与されました。

また、会場では、「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」のポスターや関連グッズの展示を行い、当ジオパークの取り組み状況を全国のジオパーク関係者にアピールしました。

エコ環境都市をめざして

エコ発電で かき氷をつくったよ

8月14日、えちぜん鉄道勝山駅で「三二鉄道博物館&エコ環境都市PRイベント」を開催し、楽しみながら環境について考えてもらうエコ体験イベントを実施しました。

二酸化炭素を排出しない環境にやさしいエコ発電の体験コーナーでは、自転車型発電機のペダルをこいで発電することによって、かき氷機で氷が削られ、かき氷をつくることができます。

子どもたち
は汗びっしょりになりながらペダルをこいで、できあがったかき氷をうれしそうにほおばっていました。

また、環境にやさしい乗り物として注目されている乗り物の紹介も行われ、8人乗りのおもしろ自転車車の乗車体験や電気自動車の展示コーナーも、多くの来場者の興味を引いていました。

エコ・クリーン市民会議を設置しました

市では、エコ環境都市および低炭素社会の実現を図るため、エコ・クリーン市民会議を設置しました。

8月4日、第一回目の会議が開催され、各種団体から推薦された委員17名と公募委員1名に山岸市長から委嘱書が手渡されました。

エコ・クリーン市民会議では、エコ環境都市および低炭素社会の実現のためのさまざまな取り組みの企画や、各種団体間における環境関連の情報共有を進め、実施状況などの進捗管理を行います。

また、平成24年度に開催される(仮称)環境自治体会議勝山会議の準備委員会として、大会の開催日程や大会のテーマなどについても検討いただきます。

委嘱された委員は次の皆さんです。
(敬称略 順不同)

委員長	石井 紀夫
副委員長	玉木 憲治
委員	堀部 雅志、安田 剛志
	手塚 国之、大久保訓子
	仲村 彰、竹内 淳
	石塚 善榮、伊藤 廣忠
	小林 則夫、藤井由紀夫
	木下 潔、丸山 星子
	石川 康宏、皿澤 吉朗
	上田 秋光、堀部真佐子

10月1日実施

2010 国勢調査

皆さまのご協力をよろしく願っています。

国勢調査は、統計法という法律に基づいて実施されます。日本に住んでいるすべての人には申告の義務があります。

点がありましたら、コールセンターにお問い合わせください。

調査員が9月23日から全世界帯に調査票を配布し、10月7日までに改めて訪問しますので、記入いただいた調査票は「調査書類収納封筒」に入れ、封をして調査員にご提出ください。調査員は封をしたまま市に提出しますので、プライバシーは保たれます。なお、調査票は同封の「郵送提出用封筒」で郵送提出することもできます。

●相談窓口の設置について
実施本部は、次の期間中、国勢調査相談窓口を設置しています。

10月1日までに調査票が届いていない、または調査票の追加が必要であるなど、調査員への連絡が必要な場合は、相談窓口までご連絡ください。

また、調査期間中は国勢調査コールセンターも設置されます。調査の内容や調査票の記入方法など、分からない

期間▼

9月20日(月・祝)～10月24日(日)
(土・日・祝日を含む)

時間▼

平日：午前8時30分～午後9時
土・日・祝：午前8時30分～午後5時

場所など▼

国勢調査勝山市実施本部
市役所1階 第4会議室
(中央公園側・農業政策課横)
☎88・1117



秋 クマから身を守る基本

○爽りの秋。クマは冬眠を前にえさを求め、活発に活動します
○勝山の山では、どこでもクマと出遭う可能性があります
○クマによる人身事故を防ぐため次の3か条を守りましょう

基本3か条

- 一、クマを引き寄せない
- 二、クマに遭わない
- 三、出遭ってしまったら、興奮しない、させない



【クマを引き寄せませんか】

- ◆ 人家の周りに生ごみを捨てたり、置いたりしない
- ◆ お墓の供え物は持ち帰る
- ◆ キャンプや登山時など、ごみは必ず持ち帰る
- ※ごみはクマの餌付けになります

【八チの巣、木の実の近くは注意】

- ◆ 人家の周りの収穫予定のないカキ、クリなどは早めに撤去する
- ◆ ドングリ、クルミ、ギンナンも大好物ですので、注意が必要
- ◆ 近くにある八チの巣も放置せず、撤去を
- ※人がいても好物があるところにはやっつけてきます

【クマと遭わないために】

- ◆ クマの餌になる実がなるところに

【それでもクマに遭ってしまったら】

- ◆ とにかく落ち着く！
騒がず、決して走らず、ゆっくり後退する
- ◆ 子グマでも絶対に近付かない。
襲ってきたら急所を守る！
地面に伏せ、両手で首の後ろをガードし、頭と首を守ってください

クマを見たら

市役所または警察署へ！

問 林業振興課(☎88・8121)
勝山警察署(☎88・0110)

●県主催懸賞クイズのご案内
「平成22年10月1日に行われる国勢調査による福井県の人口は何人でしょう?」

県では、国勢調査に対する県民の認識を高め、調査の円滑な実施を図るために、人口予想懸賞募集を実施します。県の人口を予想して、はがきまたはメールでご応募ください。

賞品▼

- 1等 芦原温泉ペア宿泊券 1名
- 2等 越前ガニ 2名
- 3等 若狭ぶぐセット 3名
- 4等 福井県特産品 20名

応募資格▼

福井県内に居住する人となります。
(ただし県政策統計課および市町統計主管課職員は応募不可) 応募は1人1回限りとし、複数応募した場合はすべて無効とします。

応募方法▼

- 必要事項6つ(①答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤年齢 ⑥電話番号)を記入し、はがきによる郵送、またはパソコン・携帯電話からメールにて応募してください。

応募締切▼

応募締切は10月10日(日)です。はがきの場合は、10月10日の消印有効、メールは10月10日午後12時受信まで有効とします。

応募宛先▼

●はがきの場合

〒910・8580
福井市大手3丁目17-1
県総合政策部政策統計課内

平成22年国勢調査福井県実施本部

●メールの場合

応募メールアドレス
kokuchou@pref.fukui.lg.jp

当選者の決定▼

1等から4等まで、福井県が発表する「平成22年国勢調査速報」の県人口に一致したもまたはこれに近いもの(同じ答えのかが2名以上いる場合は抽選とし、以下順次繰り下げる)の順に決定します。

当選者の発表▼

2月下旬までに、当選者本人に賞品とともに通知します。

個人情報取り扱いについて▼

取得した個人情報(郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号)は、賞品の発送に利用するともに、個人を識別できない統計情報として利用します。

懸賞についてのお問い合わせ先▼

県総合政策部政策統計課内
平成22年国勢調査福井県実施本部
☎0776・20・0273

年金 国民年金保険料の前納制度をご利用ください

平成22年度の国民年金保険料は、月額15,100円(定額)です。
保険料のお支払いには、お得な前納制度(1年分、半年分)をご利用ください。前納制度は、保険料を毎月納める手間を省くだけでなく、保険料が割り引きされるお得な制度です。

例) 10月から平成23年3月までの保険料の納付

- 毎月納める場合
90,600円 (15,100円×6か月)
- 半年分を一括で前納する場合
89,860円 ←上記より740円お得!
- ※納期限は11月1日(月)です

年金 年金受給者が亡くなったときは

年金を受給しているかたが亡くなったときは、すみやかに「年金受給権者死亡届」を提出してください。提出が遅れた場合、年金の過払いが発生し、後日返還いただくこととなります。

申請に必要なもの▶年金証書、死亡の事実を明らかにできる書類(住民票の除票など)

なお、亡くなったかたと生計が同一であった遺族は、亡くなった月までの未受給の年金を受け取ることができますので、併せて「未支給年金・保険給付請求書(複写式)」を提出してください。

申請に必要なもの▶上記のものに加えて、亡くなったかたと請求するかとの身分関係を明らかにできる書類(戸籍謄本など)、亡くなったかたと請求するかとの生計が同一であったとわかる書類(住民票など)、印鑑・通帳(申請者名義のもの)

※詳しくは下記までお問い合わせください

<お問い合わせ先> 福井年金事務所 お客様相談室 ☎0776-23-4518
市民課国保年金グループ ☎88-8102

フォトメッセージコンテスト ～あなたの“Love”勝山～

勝山を愛する皆さまから、フォト（写真）とメッセージを募集します。

テーマ 「私の好きな勝山」

作品規格 ポストカード大（100mm×150mm）のプリント写真、またはポストカード以下のプリント写真と20文字程度のコメントやメッセージ

応募資格 どなたでも応募できます

審査基準 写真テクニックのコンテストではなく、写真とメッセージを審査します。パソコン上で合成したものや、加工したものは不可

※作品の返却はいたしません

審査・賞 ゆめおーれ勝山での展示期間中（10月8日～24日）、訪れたお客さまの投票数により決定

グランプリ 1点（2万円相当のもの）

準グランプリ 1点（1万円相当のもの）

らぶ勝各お店賞

応募方法 出品申込書を記入し、写真と併せてらぶ勝各店舗またはゆめおーれ応募箱にお持ち込みください

応募期間 9月30日（木）まで

申・問 らぶ勝事務局（☎88-0516（八助））

こんにちは！勝山市民活動ネットワークです

皆さんに旬の野菜や 手作り加工物を届けます

「かつやま土曜夕市」へお越しください！

市民活動センター前では、朝取り新鮮野菜や手芸、木工品など品数豊富に取り揃えた、「かつやま土曜夕市」を開催しています。ていませので、ぜひお越しください。

また、うまいもん祭や年の市などのいろんなイベントにも参加して、市民の皆さんに旬な物を届けようがんばっています。

開催期間

11月27日（土）まで
午後3時～4時30分

申 勝山市民活動ネットワーク事務局（☎87-1011）



新ちゃんのお笑い人権高座

とき 9月25日（土） 午後2時～3時30分

ところ すこやか 多目的ホール

演題 「新ちゃんのお笑い人権高座」

講師 露の新治氏（落語家）

入場料 無料

その他 この講演会は、“のぞみフェスタ”の中で開催します

※チャイルドルームあり
（要予約）

申・問 生涯学習・スポーツ課（☎88-8114）



かつやまふるさと検定（第2回初級編） 受験者募集

とき 9月26日（日）午前10時～

ところ 勝山商工会館

出題形式 4択方式の100問

（1問1点 80点以上が合格）

※かつやまふるさと検定公式問題集から出題されます

受験資格 どなたでも受けられます

受験料 500円

申込締切 9月17日（金）

※第1回目も含めた合格者は、平成23年3月開催予定の中級編の受験資格が得られます

申・問 勝山商工会議所 業務課（☎88-0463）

秋季消防訓練の実施

とき 10月13日（水）午前8時～

ところ 野向町龍谷一帯

内容 火災防ぎょ訓練、一斉放水、

災害時要援護者避難・誘導訓練

※当日、午前8時頃に各公民館のサイレンや防災無線で周知しますので、火災と間違わないようにお願いします

申・問 消防署（☎88-0400）

婦人団体ご紹介

キラリと光る

勝JOYレポート

No.2

地域でがんばっている団体をご紹介します

勝JOYレポートの第2弾をお届けします。

今回ご紹介するのは、長年の行事を継続させながら、楽しくがんばっている団体と、新しく自然発生的に発足し、地域に貢献しながら自分たちで楽しく行事を行っている団体です。

団体運営のヒントが見つかるかもしれませんよ。

あじさいの会《荒土町新保》



春の花苗植えの様子

活動内容

新保花いっぱい美化運動、定例会、各種ボランティア

毎月15日は、エプロンで情報交換♪

3年前のある日、区長さんからボランティアを頼まれ、婦人会を卒業した元会員さんたちに声をかけて集まったのがきっかけです。集合日は毎月15日に設定し、気軽にエプロン姿で集まって話をしています。その際に体調や身の回りのことも確認でき、必要な情報も交換できる、そんな便利で、心地よいつながりの場です。

報恩講やろっさ～♪

昨年自分たちで作った野菜を持ちよって、報恩講をやりました。前日からみんなで喋りながら料理し、当日も大変盛り上がりました。今年は、昨年よりちょっと豪華な報恩講を秋に計画しています。

しめつけないで

無理しない、しめつけない、自分たちが楽しみたい、好きなことだから続けられる・・・今後もそんな自然体で元気で、みんなが笑いあえる集まりでありたいです。

（代表 矢戸豊子さん）

元町婦人会《元町3丁目》



今年の研修旅行で奈良へ行きました

活動内容

九頭竜ワークショップ草むしり、地区夏祭り・文化祭協力、研修旅行など

研修旅行

今年は、遷都1300年祭が行われている奈良へ研修旅行に行きました。

お目当ての興福寺の国宝“阿修羅像”の憂いを含んだ美しい姿には、本当に感動しました。

会長一人が背負ってしまわないように

夏祭り係、旅行係、文化祭係など、会長一人が背負ってしまわないよう、みんなで係を決めて分担しています。

続けてやっていくことっていい！

九頭竜ワークショップへ毎年草むしりに行っています。30年以上前から始まり、今日まで続けてきました。毎年夏祭り前に行って、暑くなる前の朝に草むしりを始めます。つらく、きついことよりちょっとでも楽しいことを探すだけで、「これだけは!!」というものは引き継いでいきたいです。

そして、地区の行事に参加する事は大事だという思いで、夏祭りに焼きそばを焼いたり、文化祭のお手伝いをしています。

（会長 和田かずこさん）



約3倍の広さになった、親子ふれあいスペース



ボールプールも新設されました！

地 広くて便利になりました！ 地域子育て支援センター移転

8月23日に地域子育て支援センター「カンガルーのお部屋」が奥越地域地場産業振興センターの2階和室に移転しました。利用者の増加に伴う、駐車場不足、ふれあいスペースの狭さなどを解消するための移転です。

これにより、ふれあいスペースは3倍強の広さを確保できました。新しい遊具等も増設され好評です。子どもたちも生き生きと遊んでいます。11月には園庭も完成する予定です。



関西学院大学生と市内小学生との交流キャンプ場で交流
7月18・19日 東山いこいの森

関西学院大学生と市内小学生との交流キャンプが行われ、ニュースポーツのドッジビーや岩魚の手づかみ体験などで盛り上がりました。

平泉寺の魅力を発信

総合案内施設安全祈願祭
7月20日 平泉寺町平泉寺区



完成イメージ

国史跡白山平泉寺旧境内の魅力を発信する施設として市が整備する総合案内（ガイダンス）施設の安全祈願祭が行われました。情報発信コーナーや出土品の展示、体験学習などの機能を持ち、平成24年秋のオープンを目指します。

平泉寺境内を激走

越前禅定道修験者マラソン
8月22日 平泉寺境内ほか



白山山頂への修業の道を駆け抜ける越前禅定道修験者マラソンが開催され、県内外から81人が参加し健脚を競いました。

そばの種まきと交流会

そばオーナー体験農園開始
8月22日 野向町聖丸区



そばオーナー体験農園活動の第1弾となる種まきが行われ、大阪から2組と市内外から合わせて22組約100人が参加しました。

もし大地震がきたら

勝山市防災訓練開催
8月29日 教育会館・すこやか



大地震を想定した避難訓練が、教育会館近隣の住民の皆さんを対象に開催されました。救急講習も行われました。

エコ協通信 エコミュージアム協議会、 略して「エコ協」です。

8月はイベント盛りだくさんでしたが、皆さんは何かイベントに参加されましたか。

8月の活動報告

◆かつやま恐竜パレード 8月14日(土)

市役所前から元祿線を練り歩く「かつやま恐竜パレード」に参加しました。エコ協からは、廃材を利用して作った恐竜を大八車に乗せ、「エコ恐竜とインディジョーンズ博士」と題して練り歩きました。恐竜をイメージしたコスチュームの自転車部隊とともに祭りを盛り上げました。なお、このエコ恐竜は、みごとパフォーマンス賞をいただきました。



◆北谷町「昔踊り」 8月15日(日)

北谷町木根橋の白山神社に、村の人たちが集まって昔踊りが行われました。浴衣を着て、歌はほほ生声、みんなで輪になって踊る昔のスタイルそのままに復活。北谷出身の若者たちもちょうど帰省していて、地域の絆をつなぐ良い行事でした。

9月のエコ協企画

◆勝山市観光ガイドボランティアアクラ

ブによる秋季平泉寺観光案内の開始(土日祝日に開催)
◆銀山と石灰山観覧会(荒土町堀名中清水) 9月12日(日)
◆観月会(越前大仏) 9月21日(火)
◆シャトーコンサート(勝山城博物館) 9月25日(土)
◆炭の原木入れ・炭出し作業(荒土町) 9月25日(土)

エコ協の団体・活動紹介

◆平泉寺町まちづくり推進協議会
平泉寺の水と豊かな自然を肌で感じ、地域の世代間交流を図るために「平泉寺女神まつり」を開催しています。

◆野向町まちづくり推進委員会
毎年、薬師神谷地区の休耕田でコスモス畑を作り、薬師神社にてコスモスマつりを開催しています。また、30年ほど前に発刊された「高尾の息吹」1号・2号の復刻を終え、今年度は、その後30年の変化や補足すべき内容などを新しいデータを基に第3号(仮称)の発刊を予定しています。



図書新着情報



こども図書

明治維新がわかる事典
深光 富士男/著
PHP研究所

外国から来た魚
松沢 陽士/著
フレーベル館

ここからどこかへ
谷川 俊太郎/文
角川学芸出版

うがいライオン
長谷川 義史/絵
鈴木出版

中高生図書

言葉はなぜ生まれたのか
岡ノ谷 一夫/著
文芸春秋

13歳からの作文・小論文ノート
小野田 博一/著
PHPエディタース・グループ

皿と紙ひこうき
石井 睦美/著
講談社

モーザルトはおことわり
マイケル・モーバーゴ/作
岩崎書店

一般図書

援助じゃアフリカは発展しない
ダンピサ・モヨ/著
東洋経済新報社

図解 カードビジネスのしくみ
本田 元/著
中央経済社

乙女の密告
赤染 晶子/著
新潮社

白砂
鍋木 蓮/著
双葉社

勝山市立図書館 ☎88-6000 ホームページ <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>